



▲おそろいの法被姿で拍子木を打ちながら火災予防を呼び掛けました

津山で幼年消防クラブ防火パレード 大きな声で「火の用心！」

秋季火災予防運動の一環として、つやま幼稚園幼年消防クラブの園児51人が11月10日、防火パレードを行いました。父兄会や婦人防火クラブ員らも参加して、柳津小学校校庭でパレードの出発式が行われ、園児代表が「ぼくたち、わたしたちは、絶対に火遊びはしません」と誓いました。その後、柳津小を出発した園児たちは、幼稚園までの約1.5kmの区間、拍子木を打ち鳴らしながら「火の用心、マッチ一本火事のもと」と、沿道の市民に火災予防を元気いっぱい呼び掛けました。

豊里で地区文化祭 自慢の作品が勢ぞろい

地域における文化活動の成果を発表する豊里地区文化祭（豊里文化協会主催）が11月2日、3日の両日、旧豊里小学校体育館を会場に開催されました。会場には、豊里小・中学校の児童生徒や、幼稚園、保育園の園児などによる写真や絵画が展示されたほか、地域の人たちが日ごろ創作した手芸、書道などの作品が展示されました。また、ステージでは文化協会による芸能発表会も行われました。会場には家族連れなどが大勢訪れ、展示されている多くの作品や、芸能発表での見事な踊りを楽しんでいました。



▲文化発表会では子どもたちのかわいらしい踊りも発表されました

伝 迫で伊達なおいとこ踊り宮城大会 伝統の唄と踊りを競い合う

第18回伊達なおいとこ踊り宮城大会（奥州森邑十三講秋祭り奉賛会主催）が11月9日、森公民館で開催されました。祝いの席の座敷踊りとして踊り継がれ親しまれている「おいとこ踊り」の競演に、県内外の9歳から78歳までの18組・45人が参加しました。唄や踊りが地域ごとに少しずつ違いがあるところも、見どころで、それぞれの踊りに大きな拍手と歓声が上がりました。最優秀賞（宮城県知事賞）は野田アキ子さん（栗原市）が受賞。そのほかの入賞者にも、市長賞、教育長賞などが贈られました。



▲小学生も参加し、大人顔負けのすばらしい踊りを披露



▲開会式では沼崎区の伊藤選手が選手宣誓

地区の期待を背中に受け力走 南方で南方一周駅伝大会

今年で27回目を迎える南方一周駅伝大会が11月16日、南方中学校をスタート・ゴール地点に、南方地区内15.5km、9区間で争われました。これは行政区対抗の駅伝で、地域の融和や結束を強め、地域の皆さんで喜びを分かち合える大会として毎年開催されています。少子化などにより年々参加チームは減少してきていますが、今年も7チームが参加し、日ごろから鍛えた健脚とチームワークを競い合いました。今年の結果は、新高石区との激しい1位争いを制した沼崎区が2連覇を達成しました。



▲東和中による起業販売には工夫を凝らした多くの商品が並びました

東和で「東和の秋まつり」 歌と踊りで実りの秋を満喫

秋の恒例イベント東和の秋まつり（同実行委員会主催）が11月1日、東和総合支所特設会場で開催されました。ステージ発表の部では、町内の各小中学校の児童生徒による合奏や太鼓演奏、文化協会の皆さんによる踊りのほか、ゲストを招いての歌謡ショーなどが行われました。また、秋晴れに恵まれた会場内には、農産物・林産物の販売や軽食バザー、東和中学校起業販売など多数のコーナーが設けられたほか、灯油券や地場産品が当たる抽選なども行われ、訪れた来場者で大盛り上がりとなりました。

米山で「ふるさとよねやま秋まつり」 取り組みごとに大きな歓声

ふるさとよねやま秋まつりが10月25日から26日の2日間、米山総合支所と道の駅米山周辺で開催されました。ちびっこ相撲大会では、幼稚園年少（4歳）から小学校6年生（12歳）までの幅広い年齢層から多くの子どもが参加し、ほほえましい取組や気迫あふれる取組などが数多く行われ、会場には子どもたちの取組を見ようと、多くの観客が訪れていました。また、発動機愛好者による発動機の展示が行われ、エンジンの音や煙のにおいなど、多くの人が昔をなつかしみながら見学していました。



▲かわいらしい力士たちがたくさん参加した「ちびっこ相撲大会」